

令和6年度 会長指針

同友クラブ愛・同友クラブ魂 誰もが誇れる同友クラブをもう一度

同友クラブ会長 中原 智行

令和6年度より、歴史と伝統のある同友クラブの会長を務めさせて頂くこととなりました。

田中歴代会長最後の令和元年度3月例会を最後に、我々同友クラブも新型コロナウイルスによって、予定しておりました事業を中止したり延期したりと、読めない期間が続く年月ではありましたが、平澤洋一前会長の任期4年間での苦勞で、払拭する事が出来たのではないかと思います。ここで、平澤洋一前会長に敬意を表します。ありがとうございました。

新型コロナウイルスも5類移行を受けて、世の中は緩やかながらも改善に向かってはいませんが、今年度は、アフターコロナにおいて回復増加は見込まれるものの、いつ災害が来てもおかしくない世の中であり、株価ほど豊かにならない不安定な経済の世の中でもあり、戦争の無くならない世の中です。どのような回復曲線が引かれるのかはわかりません。

それでも、私たちの同友クラブは、地域のリーダー的経済人の集まった団体で、異業種の経営者の集まりで、地域が少しでも良い方向に向かえればと考える団体であると思います。

ひとりでは出来ないことも、みんなで知恵を出し合えばいろいろな困難にも立ち向かると自負しております。コロナによって多少失われた個々の気持ちを、意気込みを簡単に変えることは、出来ないかもしれませんが、この年に合った改革は少なからず進めなくてはならないと考えております。大人としての強弱は大切にしながら、委員会活動はより活発にし、より充実した同友クラブ活動が出来て、誰もが誇れる同友クラブをもう一度、みんなで目指していきたいとも考えております。

同友クラブ目的を定款第3条で、「個性を尊重し、話し合いと理解と協力のもとに自己啓発と研修に努め、もって地域社会の発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。」と記されております。

もっと簡単に、もっと単純に、

自分とは違った考えを持った人を探して、刺激を求めてみませんか？

同じ釜の飯を食い、切磋琢磨できる仲間、共に笑える仲間、親身になってくれる仲間を探しませんか？まだまだ人生これから、豊かな気持ちになりませんか？

そんな仲間が増えた時、同友クラブをもっと好きになってくれる事を期待しています。

今年度、宜しく願い申し上げます。